

私の探鳥地（61）（野鳥だより 174号 2013年12月）

## 屯田防風林（札幌市北区）

辻 雅 司

屯田防風林は、東は石狩街道沿いの創成川から始まり、西へは屯田西公園まで続き、幅にしておおよそ 50m、距離にして 3km にわたり新琴似と屯田町を南北に境をなしている防風林です。札幌は馬糞風といって風の強い土地柄で、農作物を風から守るため札幌市北区やお隣の石狩市南部には防風林が点在しています。今は住宅街にすっかり飲み込まれ、農作物を風から守るという本来の目的が薄れ、野生動植物との共生を目指した自然空間として利用されています。散策道などが整備されていますが、おおむね自然に近い状態で保たれています。日本ウォキング協会の「美しい日本の歩きたくなる道」500選にも選ばれており、四季折々の多彩な植生を楽しむことができ、近くの住民には散策などで親しまれています。

私ども夫婦は、幾つかの偶然と幸運が重なりバドゥオチの虜となりましたが、それを決定づけたのはある日の出来事でした。早朝 2 階で仕事をしていると、階下から妻が大声で私を呼んでいます。急いで駆けつけると、お向かいの庭先を指さしています。驚いたことに、クマタカがカラスを組み伏せていました。なんと気高く雄々しいのでしょうか！このクマタカは屯田防風林に 2007 年（妻 1 月に初認）から約 1 年にわたり住み着いていた幼鳥ですが、その当時の私たちにはそれがどれ程にすごいことか分かりませんでした。それ以来、すっかり驚づかみされてしまいました。

さて、野鳥ですが 2006 年から始めた妻の観察記録によると、72 種が観察されています。普段の林は、カラ類、アカゲラ、ヒヨドリ、アオジなどが常連ですが、3 月下旬から 5 月初旬に一瞬一気に華やかさを増します。山に帰る前の一休みの渡りの中継地なのでしょう。ルリビタキに始まり、キビタキ、オオルリと続きます。運が良ければ、コルリ、コマドリ、クロジ、クロツグミ、アカハラ、マミチヤジナイ、シロハラ、トラグミなども観察することができます。この季節は、近くの鳥友と情報を交換しながら、至福の鳥見三昧となります。屯田西公園内の桜林は見晴らしがよく、近くのテニスコート横には駐車場も整備されていますので、定点観察におすすめです。また、近くにはすっかり探鳥地となった東屯田川遊水池もありますので、観



カラスを掴むクマタカ 2007.10.2 札幌市北区屯田

察に立ち寄ったさいには訪れてみてください。そうそう今年の夏は、屯田西公園にチゴハヤブサが営巣し、雛が孵って無事巣立ちました。早朝、あの甲高い鳴き声を響かせながら、青空を元気よく飛翔しています。